

2022年7月1日  
現勢2693名  
前月比-23名  
2,703名(1/1付)

# 小平東村山

発行所  
東京土建一般労働組合  
小平東村山支部  
小平市仲町381番地  
電話 042-342-2846  
FAX 042-342-2848  
発行人 川口 直明

## 6・29国保予算要求中央総決起大会



プラカード・アクションで要求を訴える仲間たち  
＝日比谷公園野外音楽堂

### 国と都に予算を求めて

6月29日、対都要請行動、全建総連中央総決起大会が執り行われました。建設業界の賃金、単価の引き上げ、国保予算の欲求を訴えました。猛暑日にも関わらず、全国から1796人が集まり、仲間たちの仕事と生活を守るために声を上げました。

全国から参加  
仲間の声を一つに

3年ぶりの開催、冒頭で登壇した全建総連の中西委員長は物価率

上昇に伴った賃金の大幅な引き上げ、建設国保をはじめとする諸予算の確保を訴えました。そして、そのためには全国62万人の仲間

また、集会に駆け付けた自由民主党、立憲民主党、国民民主党、公明党、日本共産党の代表議員から激励と連帯表明の

挨拶を受け、各党代表へ要請書を手渡しました。

また、全建総連の勝野書記長による基調報告では、賃金・単価の引き上げをはじめ、後継者を確保する施策の実現と、建設国保の国庫補助に必要額を盛り込ませることが大きな要求の柱であることが述べられ、さらに、ウクライナ侵攻に乗じて国内で軍拡や憲法改正の論議の動きが強まっていることに対し、「戦争に反対し続けること」「憲法9条を守る立場を堅持すること」を強調しました。そして、「ハガキ要請や地元国会議員要請行動の強化」「コロナの影響で分断された『顔の見えるつながり』と仲間の『笑顔』を取り戻そう」「コロナと戦争で世界は大きく変わってしまったが、私たちはこれに負ける訳にはいかない。共に頑張りましょう」と仲間呼びか

け、大会決議が拍手で採択。その後のガンバローは感染対策のためプラカードアクションで行われました。

ハガキ一枚が  
大きな力に

支部ではハガキで一人ひとりの声を国と都に届けます。6、7月は厚労省、8、9月は東京都、10、11月は財務省あてにハガキ要請行動を行います。このハガキこそ補助金獲得の交渉材料となり、私たちの声を形にするために必要不可欠なものです。仲間を代表する交渉団が私たちの声を届けます。もし、現行の補助金を維持できなかったら国保料の引き上げに直結します。誰一人取り残さず、仲間を守り抜くために、共にたたかきましょう。

## 国保料減免

コロナ禍における組合員の生活再建を支援するため、東京土建国保の保険料減免が昨年に引き続き実施されます。

前回の国保料減免とは対象となる方の基準などが変更されておりますので、申請基準をご確認の上、基準に該当する方は支部事務所に相談の上、申請手続きを行ってください。【☎042-342-2846】

### ①対象となる方

2022年の事業・給与等の収入が、2019・21年と比較して30%以上減少した方。又は、新型コロナウイルス感染症により世帯主が死亡又は重篤な傷病を患った方。

### ②保険料減免の期間

減収率に応じて2～4か月分となります。

### ③申請期間

7月4日～11月14日までの申請が必要です。

### 【減収率の計算方法】

2022年1月以降の連続した6か月間の収入と、2021年又は2019年の収入を比較して計算を行います。

## 用水路

コロナ騒動も少し落ち着いてきた！▼坂東三十三観音巡礼のことを思い出してみよう。

▼まず、一から四番までは鎌倉市にあり、四番の長谷寺の長谷観音は、身の丈が91・8mもある巨大像で、その金色に輝く巨躯を見上げると、思わず息をのむ▼鎌倉で、一、二の観光地だけあって、外国人も交じり大変よく覚えていて。▼今回は、房総半島に散らばっている二十九から三十三番を巡ることにした。ここまでくると参拝される人の中には「般若心経」をゆつくりと唱えお願いを祈る者もいた▼私は家内安全、身体健全、そして東京土建の発展を胸に巡りました。土建に入って十四年、役員を引き受けて十二年、仲間づくり、役員探しと奮闘してきた！しかし、現在の組合員の土建に対する関心の無さに驚く。これでは土建組合の衰退が目に見える▼組合は相互の助け合いが基本。高齢の役員さんがリタイアする前に新役員を探したいと思いを参拝しながら「観音頼み」をしている昨今です。花小金井・梅

# 夢中

北山分会

通信員 前田常雄



北山公園菖蒲苑

菖蒲の花言葉は「希望」

物事に夢中になるといふことが最近あまりない。歳の所為といつてしまえばそれまでのことなのだ。寂しいものだ。何かに夢中になるのは若さの特権だと言われるが、「若い頃は夢中で仕事を覚えだ」とか「夢中で試験勉強に励んだ」なんて話は尊敬に値する。ボケ防止に園芸やカラオケに夢中

だつて、ご立派。チャランポランな日々を送った私だが、子供達が勉強そっちのけで戦闘ゲームに夢中になっているのはどうにもけしからんと思うし、若者達がギャンブルに夢中で借金まみれと聞けば最低と呟く。営業に夢中で人様を騙すのもいた

自分の権力や保身に夢中で他国に侵略行為を行うなんてことがあつたら、言語道断、人の痛みも理解できない鬼畜野郎の所業だ。夢中はまさに夢の中、私の夢中があるとしたら「・・・妻・・・仕事・・・」

お後がよろしいようで。

# 建築再生展2022特集

建築再生展とは・・・108の企業、団体がそれぞれのブースで技術や建築素材などをアピールする展示会。私たち教宣部は建設業の労働組合として最新技術を学ぶため3人の通信員で取材しました。そのうちの2人の取材内容を掲載します。

＝6月15日 東京ビッグサイト

## 最新技術に触れる

### 「改修」がテーマ 第一線と学びたい

【小川 新田哲史 通信員 記】

東京ビッグサイトで建築再生展が三日間開催され初日に行ってきた。様々な建築メーカーのブースで最新技術を見られ、専門家によるセミナーが多数開かれています。今回のテーマは「改修」。集合住宅に住む私に気がなったセミナーはマンションのEV充電設備改修。2030年ガソ



タイルの吸着試験を体験する新田さん

リン車販売禁止になり、これからはEV車の時代になる。立体駐車場はどうするか、新しい技術があるのか、とても気になるがそのセミナーは明日だ。残念。今年から解体が始まった黒川紀章の中銀カプセルタワービル。その写真展がありまして。1個10㎡の住居カプセルが140個取り付けた11階建ての集合住宅です。生物が新陳代謝するように25年ごとにカプセルを交換するコンセプトです。結局は交換出来ずに解体となりましたが、その発想はとも面白く思いました。また、体験型のブースもありタイルの付着力試験をやりました。建築に関わる者として、最新技術を見れば勉強にもなり面白かったです。

### 歴史ある建築郡に保全を

#### 修繕工事の最先端を紹介

【花小金井 梅田光夫 通信員 記】

東京ビッグサイト、東1ホール会場案内図を見て驚く。リフォーム、リニューアルに関係する60社が出展している。まずは関心を持って



VRで軍艦島の空撮を見る梅田さん

た軍艦島のブースを一番に見学。ビデオシアターで30分ほど軍艦島の沿革を学んだ。その後はドローンで撮影した臨場感あふれる映像をVRで視聴した。また、野口隆文（東京大学教授）や今本啓一（東京理科大学教授）らのセミナーを聴講。建築物の補修工法を研究しているのとこのと、専門すぎてよくわからなかったが、気が遠くなるような保存研究である。頑張ってもらいたい。会場を一回りすると、3件気になる出展があったので紹介する。まず、排水管再生20年保証と謳っていた「ERPサポーター工法」だ。この工法はすごい。私が知っている工法は管内のスケールやサビをジェット洗浄で清掃後、管内をコーティングするのだが、これでは配管に穴があるとそこから漏れてしまうので泣く泣く管ごと取り替えることになってしま

う。しかし、この工法は筒状のスパータフネスクロスとエポキシ樹脂で、管の中にライニング管を作るので、どんなに腐食していても問題ない。また、集管部でも、ロボット工法でライニング作業してしまう技術力の高さには驚いた。スーパータフネスクロスとは、耐震補強や防刃チョッキに使用される硬度の高い特殊な繊維で、ボルトや貯水タンクに使用されるようなものだ。この素材のライニング管は大きなハンマーで叩いても割れないほどの強度を誇る。現在はこの工法を使う会社が急増しているようだ。次にスレート・金属屋根の改修工法「リ・ルーフシステム」を紹介する。この工法は屋根をまず清掃し、断熱補強層、防水層、トップコートでコーティングして完成。様々な試験で従来のものと比べて強度は30%アップ、熱耐性も優れていて、吸音効果もある。私自身、室外機の取り付けの際、屋根のスレート板が老朽化していると足を乗せることに危険を感じることがある。この工法で修繕した屋根は古いスレート板ですら高い強度であり、大きなハンマーで叩いても少しへこむくらいのもので、技術力に驚いた。

最後に「ハイブリット型放射空調システム」50年間、空調の仕事をしてきたがこの工法を知らなかった。町田市では小中学校全62校の体育館に施工されているそうだ。冷暖房回路の途中に放射パネルを入れた構造をしていて、これによって冷暖房の能力を100%引き出すという工法だ。広い施設の空調に適している。古くなった空調も新品同様の稼働効率に戻る。しかし、難点もあって、それは大きすぎること。体育館など広い施設の空調に最適だが、一般の家庭では意匠に苦勞しそうだ。



技術展示に旺盛に取材する梅田さん

## 新人書記紹介

今年三月から勤務させていただいている吉岡直将と申します。出身は東京の下町・葛飾区です。実家が給排水設備工事業を営んでおり、書記になる前はそちらで働いてました。



吉岡 直将 (25)

趣味はダンスです。中学生の時に始め、2015年にはNHKの紅白歌合戦にバックダンサーとして出演したこともあります。ダンスに限らず表現や創作が大好きです。支部では厚生文化部と教育宣伝部を担当いたしますので、培った力を発揮できるように頑張ります。

まだ右も左もわからず、組合の皆様をはじめ、書記の先輩方に迷惑をかけながら勉強させていただいております。1日も早く、皆様のお力になれるように努めてまいります。ご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。